

# 一般国道34号 福重橋架替技術検討会（結果）

長崎河川国道事務所では、福重橋架替事業について、有識者による検討会を開催し、課題の解消に向けた対策（案）について助言を頂きました。  
 主な結果は以下の通りです。

■開催日：令和7年3月11日（火） 【持ち回り開催】

■有識者：松田 浩 長崎大学大学院名誉教授 山口 浩平 長崎大学大学院准教授

■主な結果

- 国道34号福重橋は、架橋後84年を経過しており、河川構造令に定められている河川条件を満足していないことから、河川改修事業にあわせた橋梁の架け替えを実施することで、郡川の氾濫や洪水の防止につながる。
- また、国道34号は、重要物流道路や第一次緊急輸送道路であるため、物資輸送や救命活動を行うための重要な路線としての機能が確保される。
- 今後、詳細な設計を実施する際は、地質調査を行い、より詳細な地質を適切に把握し、設計、施工、地域住民の生活環境への配慮に十分反映させていくことが重要である。

## 【位置図】



## 【洪水時の状況 (H2. 7)】



▲写真① 福重橋の下流付近

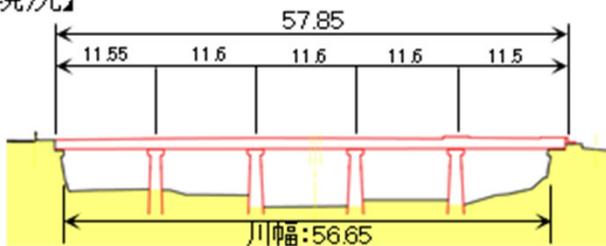


▲写真② 福重橋の上流付近

## 【側面図】

(単位：m)

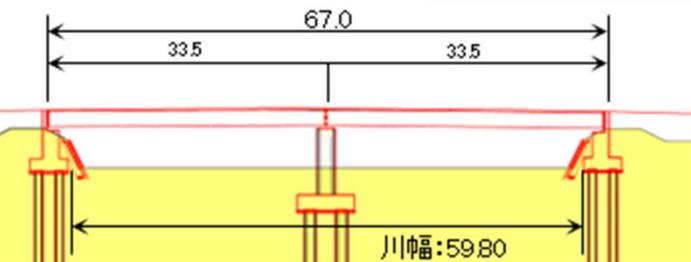
### 【現況】



### 【計画】



河川改修事業  
にあわせた  
橋梁架け替えを実施



## 【現況の福重橋の状況（全景）】

